

薄紫の山脈

島根県民の歌

米山 治 作詞

古関裕而 作曲

一、

薄紫の山脈（やまなみ）は
はるか希望の雲を呼び
磯風清き六十里
みどりの海に春たてば
おきの島山夢のごと
あゝうるわしのわが島根

二、

山に幸あり山を踏め
海に幸あり波に乗れ
玉なす汗を陽にあびて
働くところ日本の
行手かゞやく光あり
あゝゆたかなるわが島根

三、

香りゆかしき伝説の
み国譲りの往古（むかし）より
こゝろ一つにむつびあう
九十万の県民の
平和の歌は今ぞ湧く
あゝやすらげきわが島根